

ぎっかけをつなぐ旅によう「パスポート」

PASSPORT.

vol. **69**
FREE PAPER
地域の出来事に触れる
ソーシャルマガジン

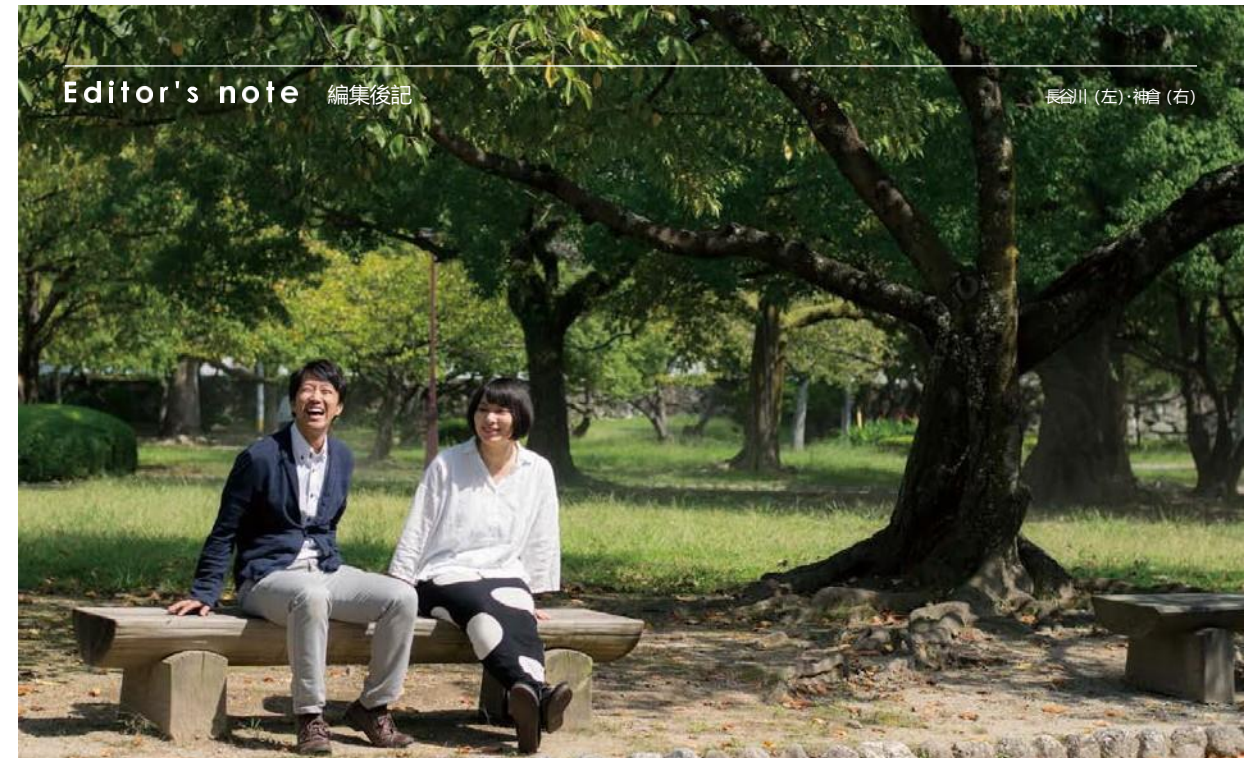
徳島市市民活力開発センター レポート



市活センターの振り返り REPORT

Editor's note 編集後記

長谷川 (左)・神倉 (右)



新たな第一歩を踏み出す旅でした。

「市活センターって何してるの?」ってよく知人から尋ねられることがあります。ほんの一部ではあるかもしれませんが、今号を通して少しでもセンターの取り組みを知っていただき、また新しい出会いのきっかけとなることを願います。改めて振り返ると本当にたくさんの々と関わらせて貰ってきたのだと懐かしくなりました。新年号も迎えたことですし、気持ちを新たにしてお届け頂く所存ですので、これからも宜しくお願い致します!

— 長谷川 (構成/写真)

今回のPASSPORT.は、発行元である徳島市市民活力開発センターの取り組みを振り返る、総集編としてお届けしました。しPASSPORT.の取材を振り返る機会にもなり、ご協力頂いた全ての方々に、改めて感謝の気持ちをお伝えしたいと思ひます。本当にお世話になり、ありがとうございました。今年度も様々な地域の取り組みを、市活センターを通してお伝えしていけるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願いいたします!

— 神倉 (デザイン)

NEXT ISSUE 次回予告 2019年6月配布予定。次回の旅も是非お楽しみ下さい。

 **とくしま市活センター** TOKUSHIMA
NPO CENTER

発行月 2019年4月
号数 69号
発行 徳島市市民活力開発センター
〒770-0847 徳島県徳島市幸町3丁目71番地の1 幸町会館1階
〔TEL〕 088-611-3886
〔FAX〕 088-624-3860
〔mail〕 nposhimin@fm.nmt.ne.jp
〔WEB〕 www.tokushima-shikatsu.com

ABOUT PASSPORT.

“PASSPORT.” それは皆さんを特別な旅へとお連れするチケット。行く先に広がるのは、団体の活動や人の想いに溢れた景色。見て、感じて、もっと知りたくなる。そんなきっかけをつなぐソーシャルマガジン。これを手にする皆様に、どうか素敵な出会いがありますように。

See you next time.

この広報誌に関するご意見、ご感想は発行元である徳島市市民活力開発センター(088-611-3886)までご連絡下さい。

 **とくしま市活センター**

市活 REPORT

平成30年度も終わり、新たな年度が始まりました。
平成最後の年は、皆さまにとってどのような年であったでしょうか。様々な人と、団体と出会い、そこからまた新しい出来事が生まれ、続いていく。
PASSPORT.69号では、そんな徳島市市民活力開発センターでの思い出を少しばかり振り返ってみようと思います。



サンタがおうちにやってくる

クリスマスイブ、大学生達がサンタクロースとなって子ども達へ夢を届けに駆け回ります。8年目の開催となったこのイベント、計142人の子ども達へとプレゼントをお届けしました！そして各ご家庭からご寄附をいただきまして、病気で入院している子ども達へのプレゼントを購入させていただきました。



相談対応

助成金申請について相談を受け、無事に申請が通りました。その知らせを受けたときにはスタッフ一同歓喜したものです。他にもNPO法人の設立、運営についての悩み、新たな活動への挑戦など、団体様から多くの悩みを伺ってまいりました。どんな些細なことでも構いませんので、これからもお悩み相談お待ちしております。



ボランティア体験講座

センターでは毎月3回中心市街地の清掃活動を行っており、多くの若者達を受け入れています。年間を通して〇〇人も参加者が集い、今では高校生・大学生・社会人が世代を超えて交流し、街へと貢献しています。



NEW! 新パンフレット 完成のお知らせ！

徳島市市民活力開発センターのパンフレットが完成致しました。より多くの方々にセンターの周知していただけますように、センターのサービス内容についてまとめさせていただいております。これからも職員一同、益々皆さまのお力になれますよう精進いたしますので、何卒宜しくお願いいたします。



プラザタウン

県内の小中学校に通う児童生徒がNPOやボランティアの専門家から活動内容を教わり、いきいきと活動することを通して地域づくりへの理解を深めてもらうことを目的とした事業です。認定NPO法人とくしま県民活動プラザと徳島県社会福祉協議会との共催で行っており、80人に及ぶ子ども達が参加しました。



環境交流会

NPO法人環境首都とくしま創造センターと連携し、徳島県内の市民活動の動向と環境問題の現状について市民が気軽に学べる交流会を開催しています。季節に応じたパレールンアート作品と一緒に制作し、環境問題について学びつつ、関心が高まってきた参加者が市民活動へ参画できるステップを展開していきます。



交通エコライフキャンペーン

徳島県渋滞対策協議会が主催する「交通エコライフキャンペーン」のプログラムの一つ「お絵かきキャンパス」の運営をセンターが担当させていただきました。子ども達と一緒にバスに絵を描くことによって愛着を育み、公共交通の利用促進を目的としています。四国大学フレンドリーキッズクラブと、徳島県交通戦略課及びバス会社との関係者を繋ぎ、調整役を担いました。



徳島市市民活力開発センターとは？

NPO活動の支援、行政との協働事業を推進するための拠点として、徳島市や周辺の11市町村（徳島東部地域定住自立圏）に活動の場を持つNPO団体へさまざまなサポートを行う施設です。

〔開館日〕 火～土曜日 10:00～21:00
日曜・祝日 10:00～18:00

〔休館日〕 月曜日
※月曜日が祝日にあたる場合はその翌日 年末年始・お盆

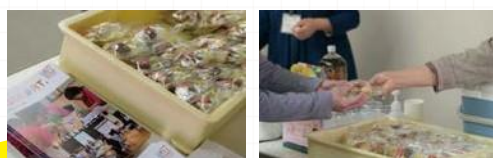
〔TEL〕 088-611-3886

〔FAX〕 088-624-3860

〔mail〕 nposhimin@fm.nmt.ne.jp

〔所在地〕 〒770-0847 徳島市幸町3-71-1 幸町会館1階

広報誌



NPO法人ほっとハウス

こちらはPASSPORT.67に掲載させていただいたNPO法人ほっとハウスのお話。とくしま健康寿命延伸産業創出フォーラムという、徳島県発の新たなヘルスケアビジネスを考える場にお菓子と珈琲を提供してほしいとの依頼がありました。会場には医療介護福祉に携わる方々はもちろん、行政や民間企業などからも人が集っており、また新たな繋がりができたようです。PASSPORT.をきっかけにこういった出来事が生まれ、そしてそこからまた次の何かへと繋がっていきますように、これからもより良き広報物の制作に取り組んでいきたいと思っています。



ダッシュ隊徳島

徳島市市民活力開発センターに届いた一本のメール、「ダッシュ隊徳島の方に講師をしていただきたい」。連絡をくださったのは徳島県立総合教育センターの方でした。PASSPORT.62に掲載されていたダッシュ隊徳島の記事を読んでいたが、それで徳島県立総合教育センター主催の講座の講師をお願いしようと思ってくれたとのこと。後日、ダッシュ隊と顔合わせの場を設けていただき、無事に講演も開催されたようでした。

各種講座



NPO法人と一般社団法人の違い

これまでしてきた活動を法人化したい...!でも法人になるとどんなメリットがあるのだろうか?どんな法人の形があるのだろうか?そんな疑問にお答えすべく開催したこちらの講座。NPO法人と一般社団法人の特徴や違いについて解説し、法人化のメリットやデメリットについて学んでいただきました。後に藍住町の団体様からも要望を受け、出張講座を開催する運びとなりました。



助成金活用講座

活動を運営していくにあたって金銭的な悩みは付きものです。助成金に頼ってみたいけど、申請書の作成とか難しそうだし、そもそもどんな助成金があるかも分からない...日常的にもそんなお悩みを聞くことがあります。今回は助成金の申請書を書くにあたって“押さえておかなければならないポイント”について解説しました。どんなに素敵な活動をしていても、それを紙面で伝えるには専門の技術が必要です。団体様の努力がしっかりと相手方に届くように、今後も助成金関連の講座には力を入れていく所存です。



市役所研修

徳島市役所の新人職員や協働推進員に向けての研修として講演を行っています。官民協働体制の強化を図るためには、行政職員と民間組織が協働の意義について知り、その上で相互の強みや役割について認識を深めていくことが必須です。そうした前提を基に「市民活動団体への理解度向上」を目的とした講義を実施しました。また、協働への理解促進をねらいとして、過去の協働事例を紹介してそのなかの行政職員の役割についての解説も行いました。

市活のつくる

徳島市市民活力開発センターは、情報収集や提供、講座や研修を行っています。平成30年度に開催されたスキルアップ講座についてや、これまでに発行されたPASSPORT.をきっかけに起こった新たな展開について紹介します。

研修



徳島県庁 NPO研修

徳島県庁では、県内NPO団体の実情を新規採用職員が把握することを目的としたNPO短期研修を実施しており、10名の職員を受け入れて2日間の研修プログラムを実施しました。内容はNPOの状況を知るための講義と市内中心部の清掃活動。市民活動の動向の把握と実際の活動現場を理解してもらうことが目的です。実際に活動を体験してもらうことでより身近にNPO活動のことを認識してもらい、今後の課題解決の選択肢の一つとしてNPOとの協働を考えられるようになったのではないのでしょうか。この研修が、いつか官民共同を果たすためのきっかけとなることを願います。



市活のつなぐ

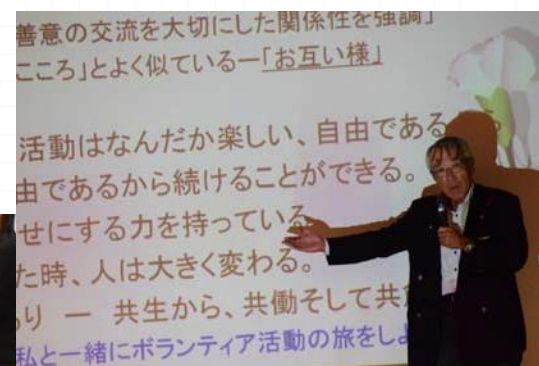
行政やNPO、地域と行政、地域と学生など、立場の違った方々をつなぐこともセンターの役割です。また、高校生や大学生といった若者達が地域活動に根付いてもらうための取組にも力を入れています。このページではそういった分野における事業の中でも、特に主立った2つの出来事について紹介します。

ボランティア交流集会

徳島県内で活動するNPO法人及びボランティア団体から、自団体の協力者として若者世代をターゲットに定めている団体に集まってもらい、イベント参加者として県内の高校生・大学生を集め、団体からの活動PRとワークショップを通じた相互交流を図る企画を開催しました。PRをしてくれた団体は6団体、集まった参加者は高校生を中心に約40名。団体にとっても参加者にとっても満足度は高く、「このイベントの参加者が自団体の次回の活動に来てくれることが決まった」「やりたいことが見つかった」といった声が多く挙げられました。初めての取り組みとなったこの企画、ぜひこれからも継続的に行ってきたいと考えています。



↑ NPO活動に興味のある若者達が集い交流しています。



↑ 四国大学短期大学の日間教授からご講演もいただきました。



↑ ワークショップの様子。学生と社会人が入り混じってお話します。

とくしま歩き遍路

四国に残された重要な伝統文化とも言える“お遍路”を広めるとともに、中高年層と若者層が一緒になって市民活動を営む場づくりをすることで、新たなネットワークの創出や市民活動への意識向上、相互研鑽を図りました。活動は全3回 10月～12月にかけて毎月1回ずつお遍路の知識を学ぶ[勉強編]とお遍路を体験する[実践編]をセットで行いました。勉強編ではお遍路の作法や、実践編でまわる札所の知識を学び、実践編では各札所を、解説を聞きながら巡っていく。参加者からは「楽しすぎた!」などの感想が挙げられたとともに、「遍路道にこみめっちゃ落ちとったけん、清浄活動したいなあ」などと、次の展開へ繋がるような意見も挙がり、改めて打合せの場を設けることになりました。



↑ 案内役を務めてくれたのは『子ども歩き遍路実行委員会』の方々。世代を超えて楽しく遍路道を歩いて行きます。



↑ 勉強会の様子。お遍路で使う道具や作法について説明しています。



↑ この道はどこへ続いているのでしょうか?



↑ 高校生連の様子。終始笑顔が溢れています。



↑ 集合写真。札所ごとに記念撮影をします。



↑ 勉強会で学んだ各札所の歴史について現場で解説します。